

# 「米国出願クレームエディットのスズメ」

## ～直訳クレームからの脱却を目指して～

「まず日本語から英語に翻訳し、誤訳や訳抜けのチェックを行い、多項従属クレームを単項従属クレームにして、現地代理人に出願指示を出す。」

日本出願に基づいて米国出願する際のこの一連の流れに何ら疑問を抱いていない実務家の皆様に問題提起をすることが、本セミナーの最大の目的です。

一般に各国には独自の実務慣習が存在するため、慣習に沿ったクレームを国毎に作成することが理想的です。

そのため、外国出願を行う際には、「翻訳」と「エディット」という2つの異なる作業を行う必要があります。

しかしながら、エディット作業の重要性に気付かず、日本の実務慣習に沿って作成された日本語クレームを直訳して外国出願を行うことが現実的には少なくありません。中には、日本語クレームを技術的・文法的に正しく翻訳することこそが外国出願業務の最重要事項であると誤解している実務家もいるかも知れません。

本セミナーでは、日本語クレームを直訳した米国クレームの典型例（電気・機械分野）を題材として取り上げ、米国実務家や米国審査官の視点で問題点を指摘するとともに、その改善策を提案します。

【主催】 一般社団法人大阪発明協会

【開催日】 平成28年12月2日（金）13:30～17:00

【開催場所】 大阪大学中之島センター 5階講義室507

大阪市北区中之島4-3-53 06-6444-2100

【講師】 高橋 明雄 氏

（グローバル・アイピー東京特許業務法人

弁理士・U.S. Patent Agent (Non-registered)）

【定員】 50名（定員になり次第締め切ります。）

【参加料】 会員8,500円（一般12,500円）（テキスト代、消費税8%込）

※ 2名以上お申込みの場合、2人目から50%引き（大阪発明協会法人会員のみ）

② (1) 3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできませんので予めご了承下さい。

(2) 聴講券、納品書又は請求書は、講座開催日の10日前頃に郵送いたします。

(3) 他府県発明協会会員でも会員料金で受講できます。

【プログラム（案）】

1. 事例説明
2. 形式的エディットポイント
3. 実体的エディットポイント

（物のクレーム）

関係代名詞、動作動詞、主語と述語の関係、Wherein節、分詞構文、  
日本語PCT出願の米国国内移行、などを説明

（方法クレーム）

Step、ナンバリング、行為に対する限定、などを説明

4. まとめ

-----切り取り線-----

大阪発明協会 企画サービスグループ行き		FAX 06-6479-3930	
<b>中級向け 知的財産セミナー 申込書</b>			
2016年12月2日開催			
<b>「米国出願クレームエディットのススメ」</b>			
申込日 平成 年 月 日			
会社名 又は氏名		部署名及び 連絡担当者	
ご住所 〒			
TEL		FAX	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e-mail		ご専門 (例)電気機械	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e-mail		ご専門 (例)電気機械	
※お申し込み者宛に、国の説明会、講座・セミナーほかの情報をご案内させていただく場合があります。なお、案内などを希望されない場合は、当協会へお申し付けください。 ※許可なくして講義内容を録音することを固く禁じます。			

お支払方法 (予納金・現金・銀行振込・郵便振替)

1. 請求書 ( 要 不要 )

振込先銀行 三井住友銀行 大阪本店営業部 普通預金 7900182  
三菱東京UFJ銀行 中之島支店 普通預金 0042472  
郵便振替口座 00940-7-312572

2. 予納金処理の方 得意先コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

会員・非会員の区別 (法人会員・個人会員  発明協会・一般)